

(1) 学校教育目標

横浜市立桜台小学校全体計画

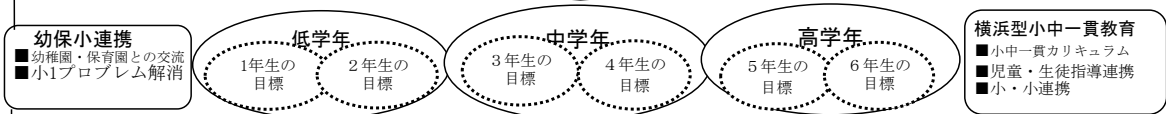
**学 校 教 育 目 標**

— 自分の思いや願いを実現しようとする子 —

「児童、教職員、地域住民など、そこに関わるすべての人が、共に学び合い高め合う学校づくり」

知) 学力を獲得した知識のみの枠に留めるのではなく、自ら学ぶための意欲と能力を加味した指導を実践します。  
 徳) 自分自身を知り、個性を認め合い、考えを尊重し合い、互いに共存していこうとする態度を育てます。  
 体) 多様な動機付けのもと、食育と体育の両輪による健全な身体の育成と体力向上を目指します。  
 公) 発達段階に応じた探究・創造などの体験活動を重視し、「自分たちがつくる社会」について考える姿勢を育てます。  
 開) コミュニケーションを通して人と関わりつなげていくために、自分から挨拶する態度を育てます。

学校教育目標を実現するための具体的な目標	
生きてはたらく知	魅力ある授業・分かる授業を実践する。基礎・基本の定着を基盤として「進んで学び、学びを深め、学びを活かす子ども」の育成に励む。
豊かな心	日常の活動において相手意識を持って、他者の立場を考えたり行動したりすることを十分に価値付けていく。
健やかな	昨年までの重点研究で自ら体育の楽しさに触れてきた経験を生かし、自己の体力を高めるための動機付けと運動の日常化への意識付けを図る。併せて食育も充実させていく。
児童指導	教職員の共通理解のもと、「桜台スタンダード」に基づく一貫した児童指導を充実させ、子どもたちが安心して安全に学校生活を送れるように努める。職員会議内に児童理解の内容を定例化し、児童の状況を共通理解する。
地域連携	「まちとともに歩む学校づくり懇話会」を発展させ、2022年度までに学校運営協議会を新規設置する。地域コーディネーターの育成を図り、地域と学校がさらに連携・協働し活動していくための体制を整えていく。
防災学習の継続深化	マニュアルに従って動く防災から、自分の頭で考え、行動する防災への転換。災害に向き合う態度を育て、地域の率先避難者としての行動へとつながり組みを進める。
いじめ対策	いじめ防止基本方針に基づき、いじめの未然防止に全力を注ぐ。事案を軽視せず、毎月のいじめ防止対策委員会を機能させ、組織的に対応する。
人材育成・組織運営	経験の浅い教職員を中心にメンターチームを組織し、ミドルリーダーがコーディネーターとなって研修を進め相互研鑽する。グループウェア等を活用して、情報の共有化を図るとともに、事務の簡便化、効率化を図る。働き方改革プロジェクトチームを立ち上げ、本校の実態や課題に即した取組を検討し、実践する。



**教育活動の重点的課題**

<b>中期学校経営方針</b>	<b>豊かな心の育成</b> ■ 人権尊重の精神を基盤とする教育の推進 「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校を目指す。自尊感情を育み自他共に尊重できる児童を育てる。 ■ 「道徳の時間」の充実 内面に根ざした道徳性を涵養し、道徳的実践力の育成を図る。	教科等の目標	<b>コミュニケーション能力の育成</b> ■ 自己表現と他者理解の充実(言語活動の充実) ■ 豊かな人間関係づくり 学級活動、学校行事等で目標に向かって協働することにより所属意識を高めると共に好ましい人間関係を築けるようにする。 ■ YICAの推進 積極的にコミュニケーションを楽しむとともに世界に視野を広げる。	<b>学校評価</b>
	<b>健康でたくましい体の育成</b> ■ 食習慣の確立 食事の大切さを理解し、給食を始め望ましい食習慣が確立されるようにする。 ■ 運動習慣の確立 運動の大切さを理解し、休み時間には元気に校庭で遊ぶなど健康な体をつくれるようにする。	低・中・高学年別の指導の重点	<b>情報社会を生き抜く能力の育成</b> ■ ICT機器の活用 ICT機器を有効に活用し、視覚に訴えた分かり易く楽しい授業が展開されるようにする。 ■ 情報モラル・マナーの啓発 人権を侵害することのないよう情報モラル・マナーを身に付ける。	
	<b>特別活動及び学習の基盤的能力の育成</b> ■ 合意形成のスキルを高める。 ■ 「感じる」「気づく」スキルを高め、課題意識をもって生活ができるようにする。 ■ 考えを「見える化」する板書の工夫。		<b>社会の変化に対応する能力の育成</b> ■ 「横浜の時間」における社会の変化に対応する課題の設定 児童が自ら考え、実践しようとする能力を育成する。また、可能なものは問題解決へ向けて実践を行う。 現代的な教育課題として次のようなものが存在する。環境教育 食教育 キャリア教育(勤労観・職業観) 福祉教育 安全教育(危険予測・危機回避能力) ものづくり(緻密さへのこだわり、忍耐強さ、美しさを大切に感性)	

**具体的取組**

<b>総合的な学習の時間の再構築</b> ○ 思考力、判断力、表現力を育成 ○ 横断的、総合的、発展的な内容 ○ 体験的、問題解決的、探求活動	<b>YICAの推進</b> ○ コミュニケーション能力育成 ○ 国際感覚の基盤醸成 ○ 小中一貫英語教育の推進	<b>読解力向上の推進</b> ○ 理解力、思考力、表現力の育成 ○ 全教科等において読解力向上 ○ 読書活動の推進、読書習慣確立	<b>一人ひとりに応じた教育</b> ○ 授業改善による基礎・基本の習得 ○ 実効性ある特別支援教育の実現 ○ 不登校の予防、適切な対応・支援 ○ 関係機関との連携
--	---	--	--

**地域・外部機関との連携・協力**

■ 地域人材・地域施設等の活用(ゲストティーチャー、地域素材の教材化)

教育課程 児童理解・指導・支援